Panasonic®

ネットワークアダプタ

品番　BNZY8210NA
BNZY8210NAP
BNZY8210LA

施 工 説 明 書

この説明書はネットワークアダプタの施工注意事項を記述したものです。
施工をされる前に必ずお読みください。
また、施工完了後は、必ず施主様にお渡しください。

もくじ

1. 安全上のご注意 …… 2
2. 設置上のお願い …… 4
3. 本体付属品 …… 4
4. 各部のなまえ …… 5
5. 取付け方法 …… 6
   5-1. 本体取付け穴の位置
   5-2. 取付け方法
   5-3. 機器への配線図
   5-4. ケーブルの接続
   5-5. ケースの取付け
   5-6. 施工上のご注意
6. 保守メンテナンス …… 11
7. 保証とアフターサービス …… 12

1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ご施工に不備があったときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は一例です)

	この絵表示は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠警告

■電気配線工事は、「法的有資格者」が行う。

漏電、火災、感電のおそれがあります。

■電気配線工事は、電気設備技術基準など関連する法令、規制および「取扱説明書」に従って行う。

漏電、火災、感電のおそれがあります。

■分解や改造をしない。

故障による感電の原因になります。

■ＡＣ90～110 Ｖ以外の電源を使用しない。

感電、火災の原因になります。

■アース工事は電気設備技術基準など関連する法令規制などに従ってD種（第３種）接地工事を行う。

漏電による感電のおそれがあります。

■可燃性ガス雰囲気中に設置しない。

火災の原因になります。

⚠注意

■本製品は屋内専用のため、屋外や水のかかる所に設置しない。

感電および故障の原因になることがあります。

■ネットワークアダプタのケース取付け・取外しは「施工説明書」に従って確実におこなう。

電子端子が露出し、感電のおそれがあります。

2. 設置上のお願い

■設置が可能な環境は、
温度　0 ～ 50 ℃
湿度　30 ～ 90 %
（結露しないこと）となっています。
特に他の発熱機器と同一盤内に収納する場合はご注意ください。

誤作動や故障の原因になります。

■振動やホコリの多い場所、強電界、強磁界となる場所への設置は避けてください。

誤作動や故障の原因になります。

■セキュリティが確保された構内LANの環境でご使用ください。

セキュリティが脆弱な状態で使用すると、ウイルスなどによりシステムに不具合が生じるおそれがあります。

■施工時は内部に切粉やゴミがかからないよう、養生などの処理を行ってください。

誤作動や故障の原因になります。

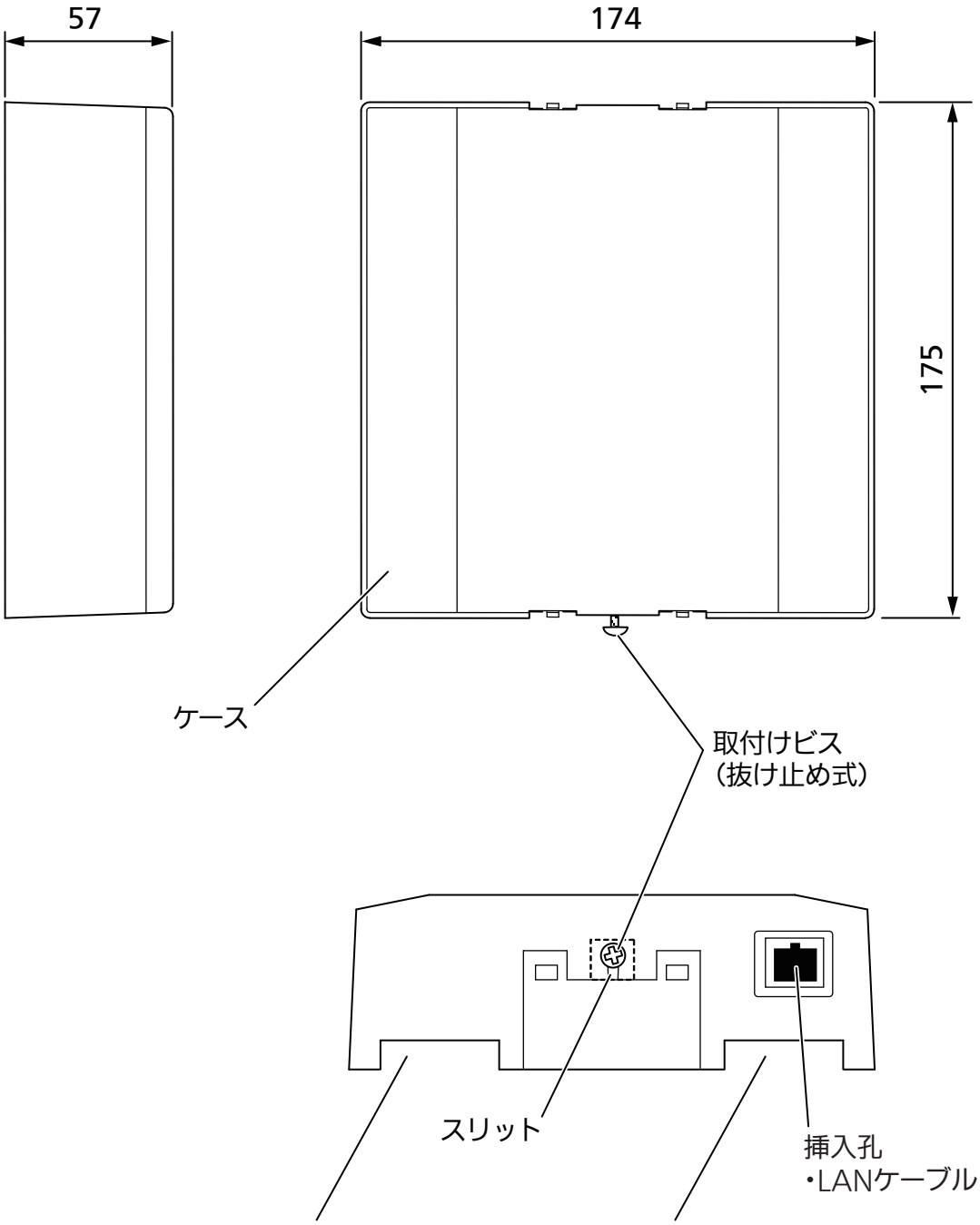
3. 本体付属品

ネットワークアダプタ本体	1 台
施工説明書（本書）	1 冊
パナソニックお客様ご相談窓口のご案内	1 枚
保証書	1 部

4. 各部のなまえ

外観図

（単位：mm）

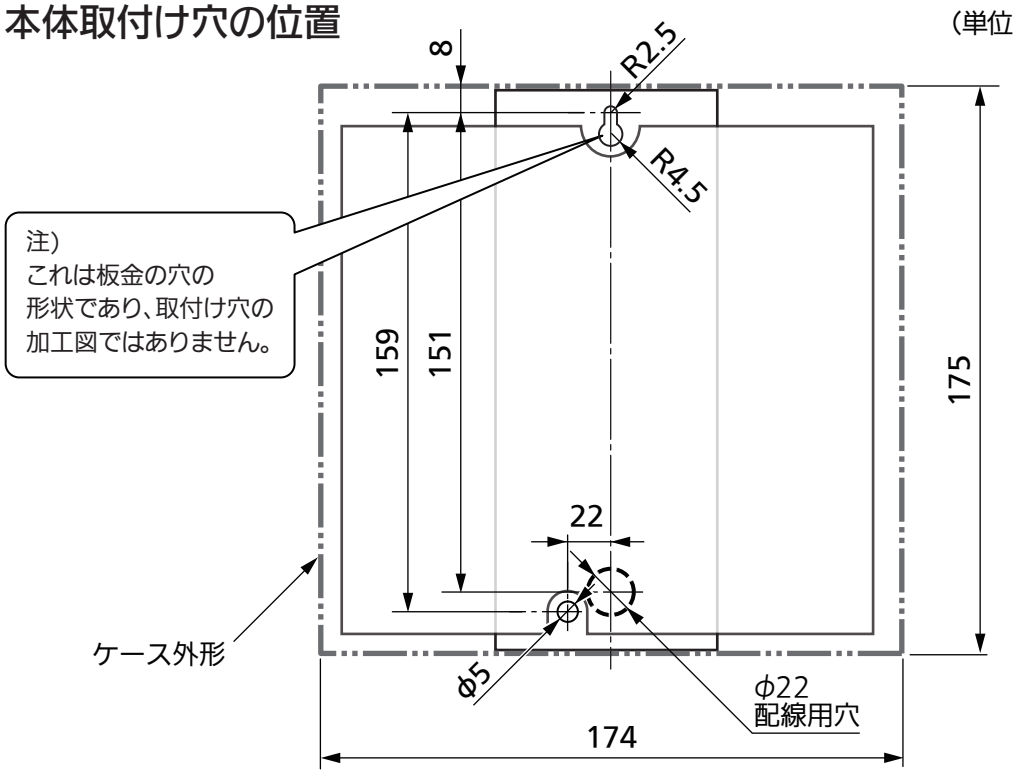


5. 取付け方法

(注)ケースの取外しについて
取付けビスを緩めた後、取付けビス横の爪を押しながらケースを前面方向に持ち上げると
ケースが本体から外れます。
(取付けビスの先端には抜け止めナットが付いています。緩めすぎないように注意してください)

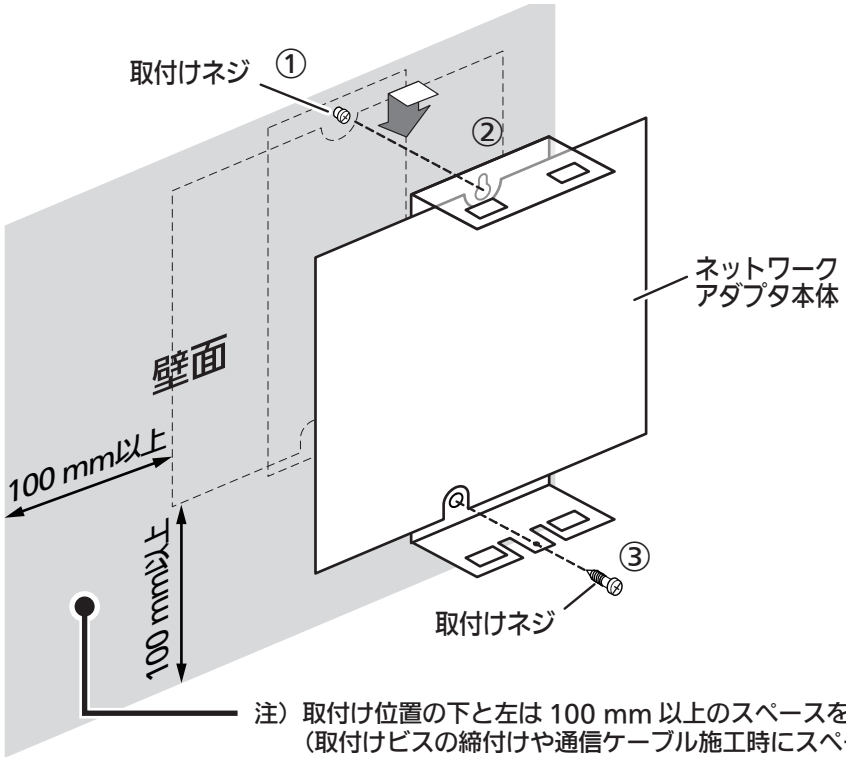
5−1 本体取付け穴の位置

(単位：mm)



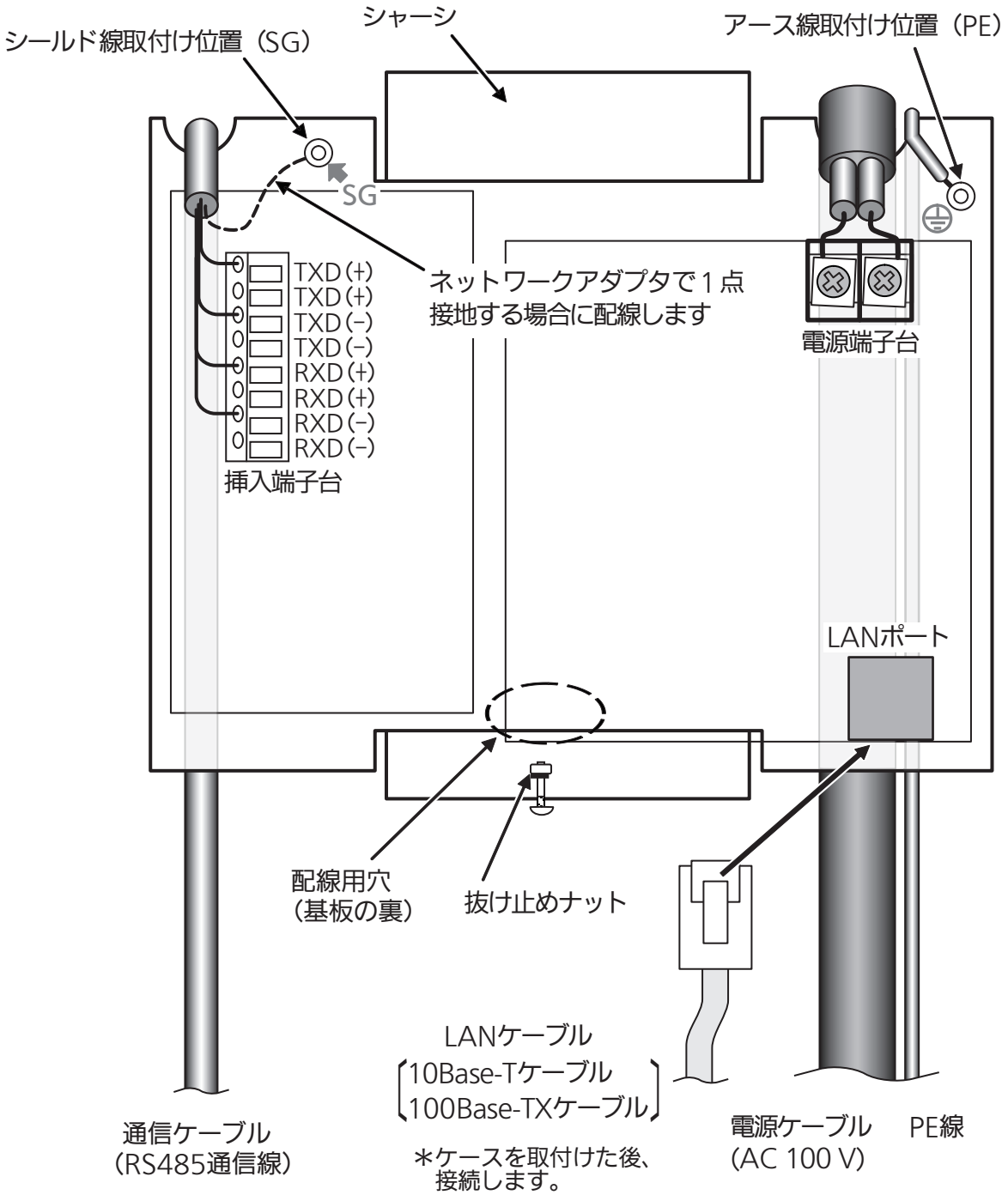
5−2 取付け方法

①壁側にあけた穴の上側に取付けネジを数ミリ浮かせて取付けます。
②ケースを外したネットワークアダプタ本体を上記ネジに引っ掛けて仮固定します。
③下側のネジを取付け、次に上側のネジを締めます。



注) 取付け位置の下と左は 100 mm 以上のスペースを空けてください。
(取付けビスの締付けや通信ケーブル施工時にスペースが必要です)

5−3 機器への配線図

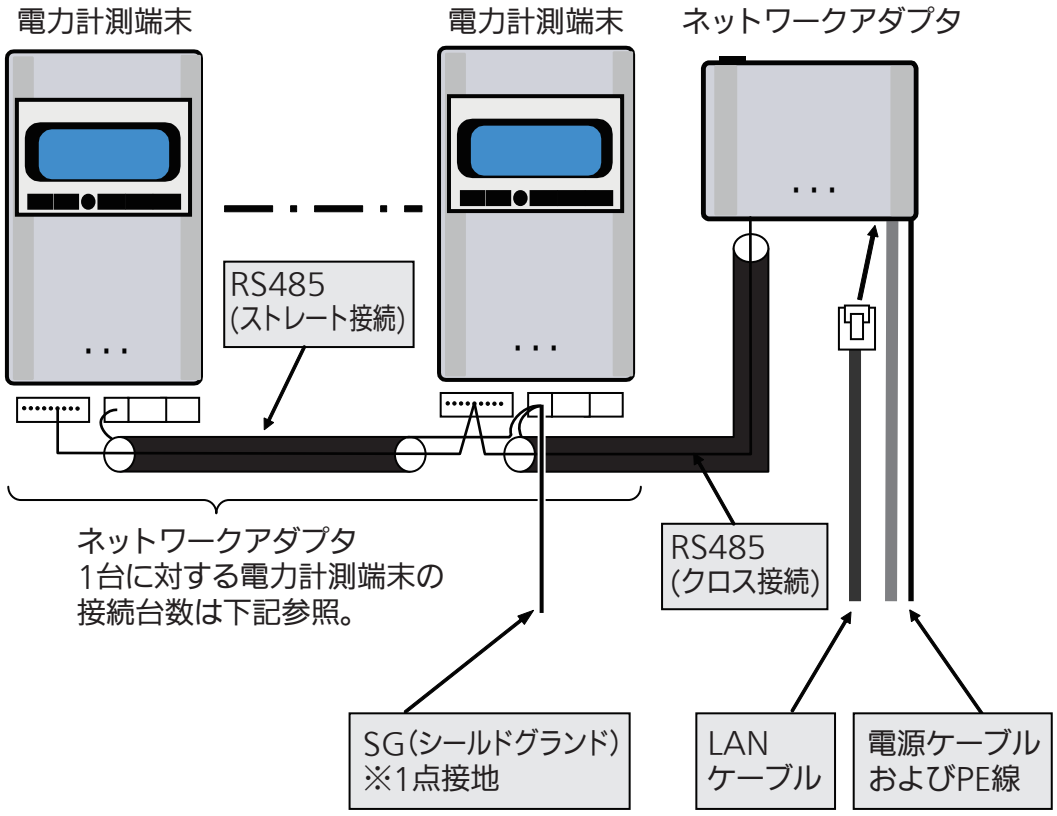

シールド線取付け位置（SG）
シャーシ
アース線取付け位置（PE）
SG
TXD(+)
TXD(+)
TXD(−)
TXD(−)
RXD(+)
RXD(+)
RXD(−)
RXD(−)
挿入端子台
ネットワークアダプタで1点
接地する場合に配線します
電源端子台
LANポート
配線用穴
（基板の裏）
抜け止めナット
LANケーブル
10Base-Tケーブル
100Base-TXケーブル
＊ケースを取付けた後、
接続します。
通信ケーブル
（RS485通信線）
電源ケーブル
（AC 100 V）
PE線

5－4 ケーブルの接続

①電源ケーブルの接続
・電源端子台にAC100 V電源ケーブルを接続します。
②通信ケーブルの接続
・RS485通信線を左上にある挿入端子台に接続します。
〔RS485通信線はCPEVS-φ0.9（2ペア以上）を使用してください〕
③アースケーブルの接続
・シャーシの右上および左上にM4アース端子がありますので、どちらかにアース線を接続します。
④LANケーブルの接続
・ケースを取付けた後に、LANケーブル（10Base-Tケーブルまたは100Base-TX）をネットワークアダプタ基板のLANポートに接続します。

接続図

※端子台は実際にはケース内にあります。

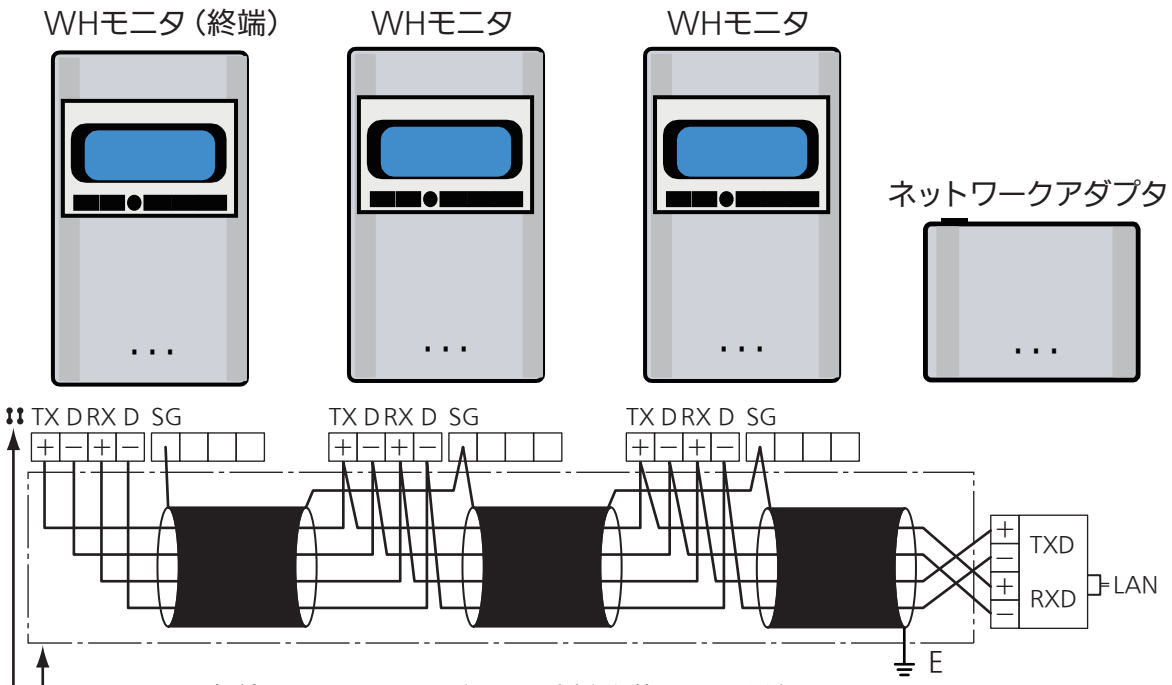


※多回路形電力モニタ（WHモニタ）（品番：BNZY8210WHM）、
多回路エネルギーモニタ（品番：BT3720・BT37202）を総称して
電力計測端末と称します。（上図は多回路形電力モニタの例です）

※電力計測端末の接続台数
ネットワークアダプタ（標準版）　品番　BNZY8210NA　：　1～10台
ネットワークアダプタ（AP版）　品番　BNZY8210NAP：　1～　3台
ネットワークアダプタ（LAE版）　品番　BNZY8210LA　：　1～32台

多回路形電力モニタの通信ケーブル接続図

※端子台は実際にはケース内にあります。

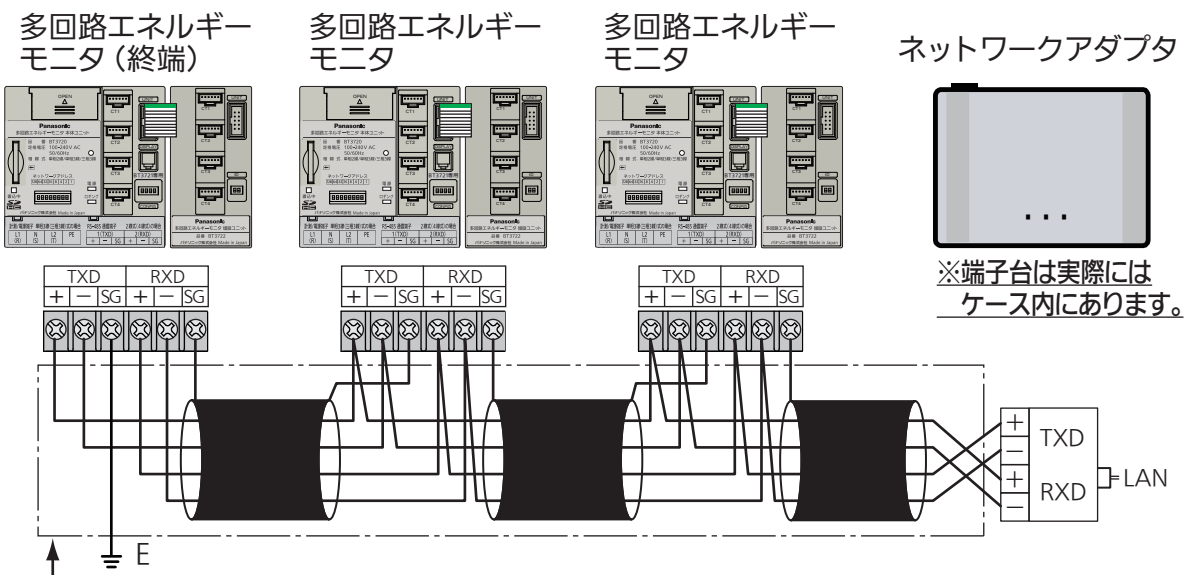


※RS485通信線はCPEVS-φ0.9（2ペア以上）を使用してください。

※終端のWHモニタにのみ付属の通信用ジャンパーピン（2コ）を挿入してください。

※通信ケーブルのシールドはSG端子を中継して接続し、1点で接地します。（接地場所は任意）
SG端子は中継用です。WHモニタには接続されません。

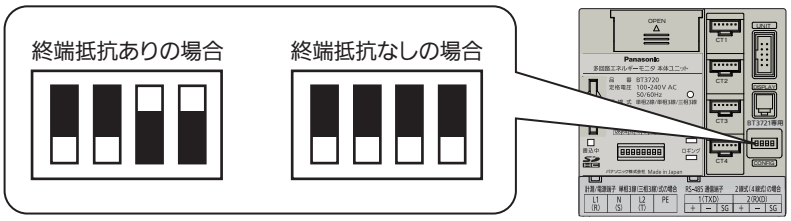
多回路エネルギーモニタの通信ケーブル接続図



※端子台は実際にはケース内にあります。

※RS485通信線はCPEVS-φ0.9（2ペア以上）を使用してください。

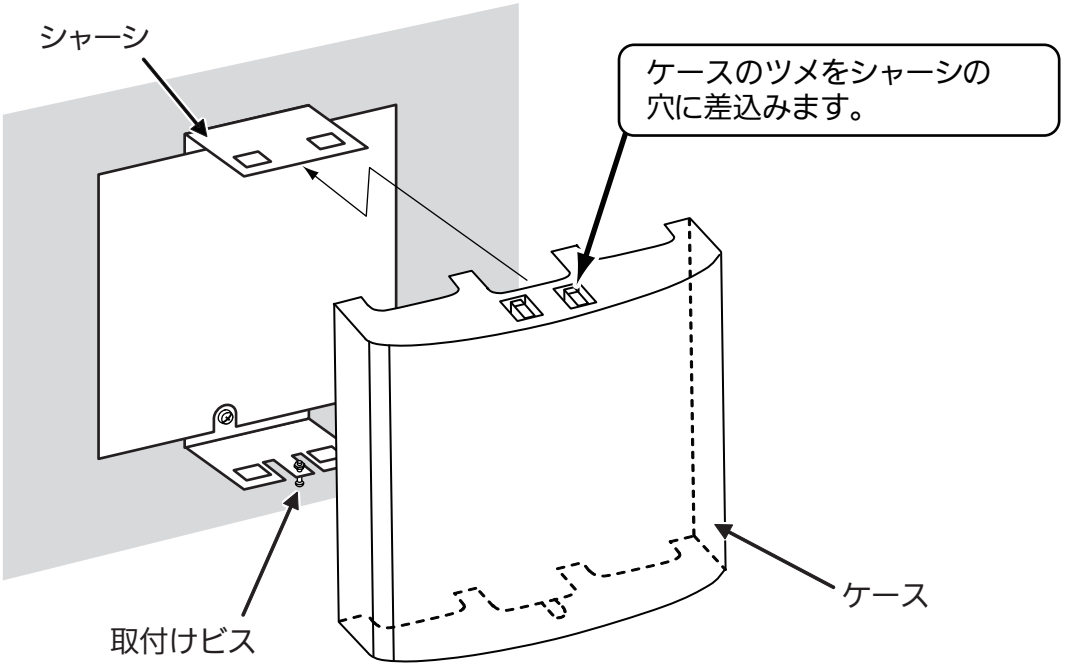
※終端の多回路エネルギーモニタのみ通信方式選択スイッチを『終端抵抗あり』にしてください。



※通信ケーブルのシールドはSG端子を中継して接続し、1点で接地します。（接地場所は任意）
SG端子は中継用です。多回路エネルギーモニタには接続されません。

5−5 ケースの取付け

・壁に取付けたシャーシにケースを取付けて、シャーシ下部の取付けビスを締め付けます。



5−6 施工上のご注意

(1)ネットワークアダプタの電源は専用ブレーカを設けて接続してください。
（メンテナンス時にネットワークアダプタ単独で電源をON／OFFする必要があります）
(2)通信ケーブル（RS485通信線）の接続は電力計測端末間はストレート接続、
ネットワークアダプタと電力計測端末間はクロス接続してください。
(3)通信ケーブルのシールドはネットワークアダプタあるいはいずれかの電力計測端末側で
必ず1点接地してください。
（1点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）

6. 保守メンテナンス

末長くご使用頂くために以下の保守メンテナンスを定期的に実施してください。

6－1．外観, 設置環境確認

ケースを開ける前に以下のことをご確認願います。

① ケースにひび割れ, 破損や過熱のないこと。
② ケースが水や油などの液体でぬれてないこと、あるいはぬれた形跡がないこと。
③ 盤内などでご使用時は盤内温度が50 ℃を超えていないこと。
④ 大電流の流れる動力線がネットワークアダプタの直近に配線されていないこと。
⑤ IPアドレスのシールが本体の側面に貼られていること。

6－2．内部確認

ネットワークアダプタの電源をOFFにした後、LANケーブル, ケースをはずして
以下のことをご確認願います。

① 電源ケーブルおよびRS485接続ケーブルが緩んでいないこと。
② 内部に極端な量の埃や小動物などの異物が入っていないこと。
③ 水や油などの液体でぬれてないこと、あるいはぬれた形跡がないこと。
④ 電源ケーブルをはずし、電源端子台一括ーアース線取付け位置(PE)で、以下の条件で
絶縁および耐圧試験を実施すること。
・絶縁抵抗測定:DC500 Vメガで10 MΩ以上であること。
・耐圧試験　　:AC1500 V　　1分間で異常がないこと。

6－3．動作確認

ネットワークアダプタの保守メンテナンス作業完了後、正常に動作していることを
ご確認願います。

①ケース, LANケーブルを取り付け、電源を投入する。
②電力管理ソフトなどの上位ソフトで、対象のネットワークアダプタに接続されている
電力計測端末のデータが収集できることをご確認願います。

7. 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）ー
お買い上げ日　年　月　日

修理を依頼されるときは
お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	ネットワークアダプタ
●品　番	
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店・工事店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが販売店・工事店にご相談ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
出張料	技術者を派遣する費用
部品代	部品および補助材料代

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、以下の**お客様ご相談窓口**にご相談ください。

アフターサービス　パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

●この製品の修理・部品などのご相談は、まず工事店へお申し付けください。

使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック　お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365 携帯・PHS OK
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「640#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187
■FAX　フリーダイヤル
0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturday/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

修理・部品などのご相談は

パナソニック エコソリューションズ　修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ　修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通番号）0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401㊟　名古屋☎052-551-7900㊟
東京☎03-5392-7190㊟　福岡☎092-622-0531㊟
※㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は当社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

ご使用の前に必ず施工説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。

㊟ 記載内容は、2012年1月現在のものです。仕様・定格は改善のため予告なく変更する場合があります。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真1048番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

8M7 139 006
PC0810-10112